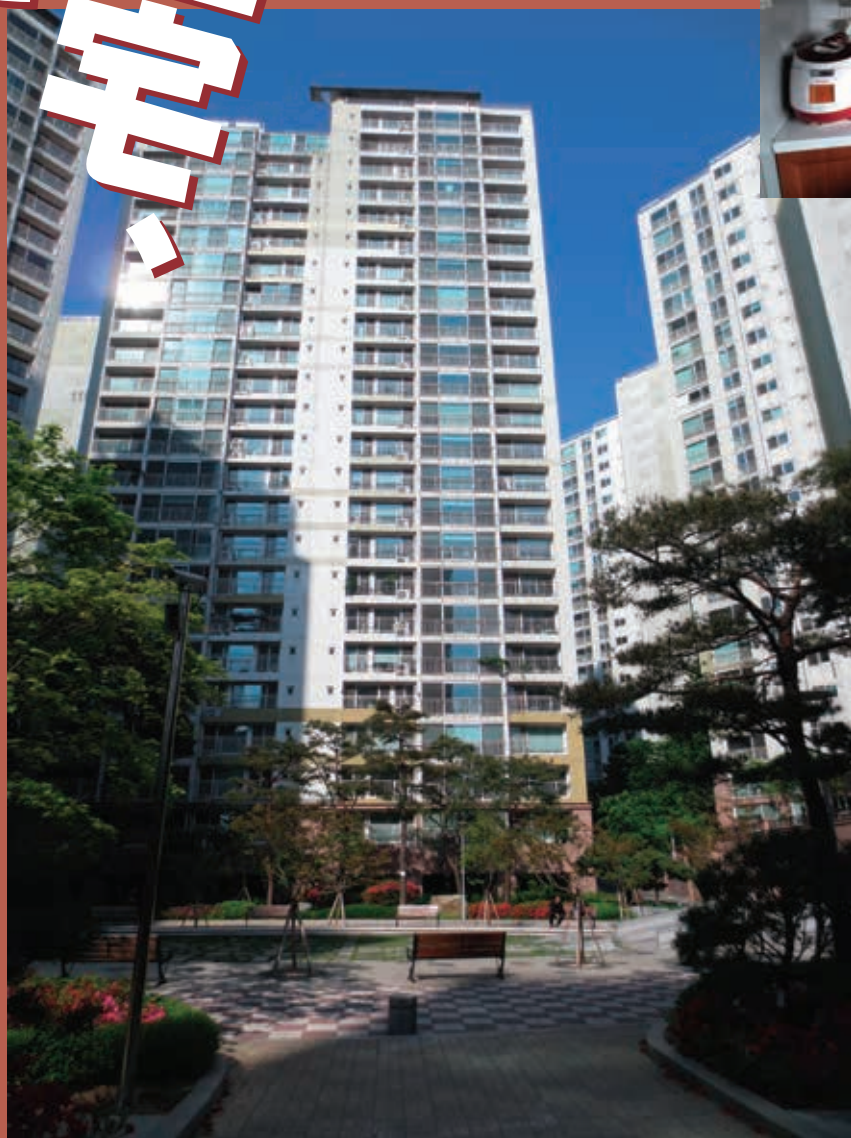


# 集合住宅、 普通の暮らし を暮らす



日本民俗学会2014国際シンポジウム  
「当たり前前」を問う！  
—日中韓・高層集合住宅の暮らし方とその生活世界—

2014年

**10/4** 土 10:30~17:40

会場

成城大学3号館003教室  
小田急線「成城学園前」駅北口徒歩3分

[主催] 日本民俗学会

[共催] 科研基盤A「東アジア〈日常学としての民俗学〉の構築に向けて」(研究代表者・岩本通弥)

科研基盤B「地域生活記憶集積メカニズムの解明とアーカイブ施設の社会実験及びその運営手法の構築」(研究代表者・大月敏雄)

科研基盤B「市民的教養としての歴史学—国際比較研究」(研究代表者・外村大)

[後援] 成城大学、日本建築学会 [協賛] 公益信託澁澤民族学振興基金、公益財団法人平和中島財団アジア地域重点学術研究

# 日本民俗学会2014国際シンポジウム

## “当たり前”を問う!

### ～日中韓・高層集合住宅の暮らし方とその生活世界～

入場無料 申込不要

都市化によって私たちの生活は画一化され、みなが同じような暮らしを送るようになりました。集合住宅とは、まさにモダンで均質的な暮らしを生み出す空間でした。その一方で、私たちは日々さまざまな工夫をしたり、自分だけの居場所を作ったりします。ひとつひとつの部屋を細かく見れば、まるで生きているかのように多様に変化しているはずですが、日本を中国や韓国などの隣国と比べると、そこに文化ごとの違いも見えてくるかもしれません。民俗学の視点を生かし、住まいや住まい方という「日常」や「当たり前」を振り返ってみます。

※日本民俗学会HP (<http://www.fsjnet.jp/>) も御覧ください。

#### 【プログラム】

開会の挨拶 10:30～10:35

**第Ⅰ部 問題提起—民俗学と当たり前 10:35～11:50** 司会:島村恭則(関西学院大学)

“当たり前”と“生活疑問”と“日常” ……………岩本通弥(東京大学)

“平民”/“生活”/“文学”:周作人の民俗学 ……………周 星(愛知大学)

ドイツ民俗学と“日常”研究 ……………李 相賢(国立安東大学校)

————— 休憩 11:50～13:00 —————

**第Ⅱ部 集合住宅／普通の暮らしの今昔 13:00～14:30**

東京のマンションの展開と暮らし ……………篠原聡子(日本女子大学)

ソウルの高層集合住宅の展開と暮らし……………南 根祐(東國大学校)

北京の高層集合住宅の展開と暮らし ……………王 杰文(中国伝媒大学)

————— 休憩 14:30～14:50 —————

**第Ⅲ部 普通の暮らしの捉え方 14:50～16:10** 司会:島村恭則・門田岳久(立教大学)

住まい方調査と“建築計画学”……………大月敏雄(東京大学)

韓国のサルリムサリ研究の展開 ……………丁 秀珍(東國大学校)

中国民俗学と生活世界 ……………高 丙中(北京大学)

記憶、対話と生活世界 ……………戸 曉輝(中国社会科学院)

世相史の可能性 ……………重信幸彦(国立歴史民俗博物館)

————— 休憩 16:10～16:30 —————

**第Ⅳ部 総合討論 16:30～17:35**

閉会の挨拶 17:35～17:40

中国・韓国の発表者には日本語字幕を映写します。討論は通訳あり。  
また、ワーキングペーパーを配布します。

日中通訳 西村真志葉(インディペンデント・フォークロリスト)

日韓通訳 金 賢貞(東北大学)

#### 【お問い合わせ】

事務局 〒153-8901 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学  
歴史学部会 日本民俗学国際交流事業担当  
TEL 03-5454-6236(歴史学部会)  
Mail fsj.sympo2014@gmail.com

当日会場 〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20(3号館003教室)  
TEL 03-3482-1452(成城大学正門案内所)

